

2025 年 4 月 25 日

## 2024 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人フードバンク TAMA

代表者・役職名 氏名 理事長 神山治之

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクトの名称

多摩地域ひとり親貧困家庭への食支援活動

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

満足に食事がとれない子どもたちが存在するという状況を改善するため、有志が集まり 2016 年 6 月に設立総会を開催し、同年 9 月に東京都より NPO 法人格を取得しました。日野市、八王子市、立川市、昭島市等の多摩地域の行政、社会福祉協議会や各種団体と連携し、フードバンク活動を展開しています。2024年度会員数は 10 名です。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

生活困窮家庭を支援するための制度(生活保護や各種児童手当など)があるものの、物価高に対処するには至っていないのが実情です。当フードバンクは、食品や生活用品を提供することで、各家庭への駆け込み寺的な支援をしています。また、子ども食堂等約90団体へも定期的に支援していますが、各団体においては、生活困窮家庭への手厚い食支援が喫緊の課題でもあります。当フードバンクはそれを実現するために、食支援をツールとして、福祉のまちづくり、地域共生社会を目指し、各市の社会福祉協議会や子ども食堂と連携することで、地域共生のプラットフォームづくりを目指します。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

立川市のひとり親支援団体に属するひとり親生活困窮家庭に対し、直接的な食支援(パントリー活動)を実施します。また、日野市においては市内 10 箇所の社会福祉施設において毎日食品パッケージ(約8キロ)を配布します。また、八王子市においては、15箇所の子どもの食堂において、パントリー活動として食提供を実施します。更に多摩地域にあるひとり親支援団体(2か所)を通じてパントリー活動を展開します。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

立川市におけるひとり親家庭への支援として、毎月 100 世帯にお米をはじめ沢山の食品を提供しました。また、春、夏、冬休みには子ども応援プロジェクトとして、果物やクリスマスケーキ、おせち料理などをお渡ししました。食の満足度はもちろんのこと、子どもたちの思い出にもなったと確信しています。また、日野市、八王子市においてはパントリー事業を行い、多摩地域の子ども食堂へも沢山の食品提供を行いました。これらの結果、私たちの活動を聞き新たに支援に加わってくださる企業も増え、活動する地域の拡大も進みました。また、支援をしたご家庭からは、子どもたちの笑顔が増え、家族の会話も増えましたとの声が寄せられました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

活動を通じて、地域における経済的格差の拡大と、その広がりが急速に進行している現実を強く実感しています。とくにひとり親家庭では、生活のあらゆる場面において困難が重なり、子どもたちの健やかな成長にも影響が及びかねない状況です。物価高騰が今後も続けば、食の安定すらままならない家庭がさらに増加することが予想され、早急な対応と持続的な支援体制の確立が求められています。こうした状況のなかで、私たちの活動が少しでも生活の支えとなり、希望を感じられるきっかけとなるよう、今まで以上に一つひとつの取り組みに真摯に向き合い、地域全体で支え合える社会づくりに貢献していきたいと考えています。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

